

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

27年 6月18日

大分県知事 広瀬勝貞 殿



提出者 〒877-0000 大分県日田市大字渡里495-4
 農事組合法人 日田牧場組合
 住所 日田牧場組合
 氏名 理事 中山 五郎
 TEL 23-8325
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
 電話番号 0973 23 8325

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	農事組合法人 日田牧場組合
事業場の所在地	大分県日田市大字渡里495-4
計画期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	01 農業
②事業の規模	乳牛 158 頭
③従業員数	4 名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	動物のふん尿 自ら堆肥処理(利用販売) 動物の死体 処理業者へ委託処理

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

場長 (廃棄物統括責任者)
 廃棄物処理方針の決定

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (平成26年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	排出量	2773 t	5頭 t
	(これまでに実施した取組) 糞尿は処理施設で堆肥生産をして飼料畑に施肥。もどし堆肥。農家への販売をしている。 死亡牛は処理業者へ依頼している		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	排出量	2800 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 糞尿は堆肥処理をして飼料畑施肥。もどし堆肥。農家への販売。道の駅での販売を予定している。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（平成26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	2773 t	t
	(これまでに実施した取組) 飼料畑に施肥. もと1堆肥. 農家への販売		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	2800 t	t
	(今後実施する予定の取組) 飼料畑を増やし堆肥を施肥して牧草の自給率をあげる。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（平成25年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	ふん尿
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	ふん尿
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（平成25年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	動物の死体
	全処理委託量	発生頭数5頭 t
	優良認定処理業者への処理委託量	5 t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(これまでに実施した取組)	
死亡した日に家畜保険所へ報告し、 処理業者に引取ってもらい、業者より死亡牛 処理整理票に記入してもらい、控え伝票を 受けとりファイルに保管している。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の死体	
	全処理委託量	0	t
	優良認定処理業者への 処理委託量		t
	再生利用業者への 処理委託量		t
	認定熱回収業者への 処理委託量		t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t
(今後実施する予定の取組)			
獣医と治療方法を話し合い、死牛を 出さないようにする			
※事務処理欄			